

平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	後期高齢者医療制度関係業務事業費補助金			担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	高齢者医療課	泉 潤一			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	高齢者の医療の確保に関する法律第102条、155条			関係する計画、通知等	平成29年度後期高齢者医療制度関係業務事業費補助金交付要綱「平成29年度後期高齢者医療制度関係業務事業費の国庫補助について」(平成29年3月28日厚生労働省発保0328第2号)等				
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	後期高齢者医療広域連合(以下「広域連合」という。)及び市町村が行う後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するために、国民健康保険団体連合会(以下「国保連合会」という。)及び国民健康保険中央会(以下「国保中央会」という。)が行う事業に要する経費の一部について、補助するものである。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	①国保連合会が実施する事業 1. 第三者求償事業 2. 特別徴収情報経由事務関連事業 3. レセプト電算処理システム推進事業 ②国保中央会が実施する事業 1. レセプト電算処理システム推進事業 2. 後期高齢者医療事業の効率化に関する事業								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
		当初予算	926	942	984	885	1,186		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	926	942	984	885	1,186			
	執行額	926	942	984					
執行率(%)	100%	100%	100%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	100%	100%						
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	後期高齢者医療制度関係業務事業費補助金	885	1,186	「新しい日本のための優勢課題推進枠」124事業の内容見直しによる増					
	計	885	1,186						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)									
定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26~28年度の達成状況・実績					
	受け付けたレセプトデータを審査支払した結果を実績としている等のため、目標を定量的に示すことは困難。			後期高齢者医療制度の円滑かつ健全な運営に資することを目的とする。達成状況は「事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績」に記載。					

定量的な成果目標の設定が困難な場合	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		①-1 第三者求償事業 求償請求を適切に行う	補償決定された金額	実績	百万円	13,708	14,133	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
	達成度			%	100	100	-	-	-	-	-	
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		①-2 特別徴収情報經由事務 特別徴収經由事務のデータ授受を適切に行う	データ授受を行った特別徴収情報經由件数	実績	百万件	533	566	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	達成度			%	100	100	-	-	-	-		
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		①-3 レセプト電算処理システム推進事業 レセプト電算処理システムの推進を適切に行う	レセプト電算処理し、審査支払した件数	実績	百万件	459	475	-	-	-	-	
目標値				-	-	-	-	-	-	-		
達成度	%			100	100	-	-	-	-			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	① 国保連合会への国庫補助額	活動実績	百万円	202	199	集計中	-	-	-			
		当初見込み	百万円	205	207	227	-	-	-			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	② 国保中央会への国庫補助額	活動実績	百万円	721	735	集計中	-	-	-			
		当初見込み	百万円	721	735	757	-	-	-			
単位当たりコスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	①-1: 求償決定金額に対する補助額(国庫補助額÷求償決定金額)	単位当たりコスト	円	0	0	-	-	-	-	-		
		計算式	千円/百万円	20,849/13,708	20,241/14,133	-	-	-	-			
単位当たりコスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	①-2: 特別徴収情報經由件数1件あたりに対する補助額(国庫補助額÷特別徴収情報經由件数)	単位当たりコスト	円	0.3	0.2	-	-	-	-	-		
		計算式	千円/百万円	156,588/533	129,925/566	-	-	-	-			
単位当たりコスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	①-3 審査1件あたりの補助額(国庫補助額÷審査支払件数)	単位当たりコスト	円	0.7	0.7	-	-	-	-	-		
		計算式	千円/百万円	334,310/459	305,723/475	-	-	-	-			
単位当たりコスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	②-1: 審査1件あたりの補助額(国庫補助額÷審査支払件数)	単位当たりコスト	円	0.7	0.7	-	-	-	-	-		
		計算式	千円/百万円	334,310/459	305,723/475	-	-	-	-			
単位当たりコスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	②-2: システム開発項目数に対する補助額(国庫補助額÷システム開発項目数)	単位当たりコスト	百万円	205.8	159.2	-	-	-	-	-		
		計算式	千円/開発項目数	411,521/2	477,630/3	-	-	-	-			
政策評価、経済・財政再生	政策	政策	施策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること									
		施策	施策目標 I-9-1 データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること									
	政策評価	測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			-	実績値	-	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
後期高齢者医療制度に関する事務を効率に実施するために、国民健康保険団体連合会及び国民健康保険中央会が行う事業(第三者求償事業、レセプト電算処理システム推進事業等)に要する経費の一部について補助する。もって保健者等への国庫補助を通じて医療保険の安定的運営に寄与している。												

アクション・プログラムとの関係	経済・財政再生 アクション・プログラム	改革項目	分野:	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	-		
		(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	-		
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-											

事業所管部局による点検・改善

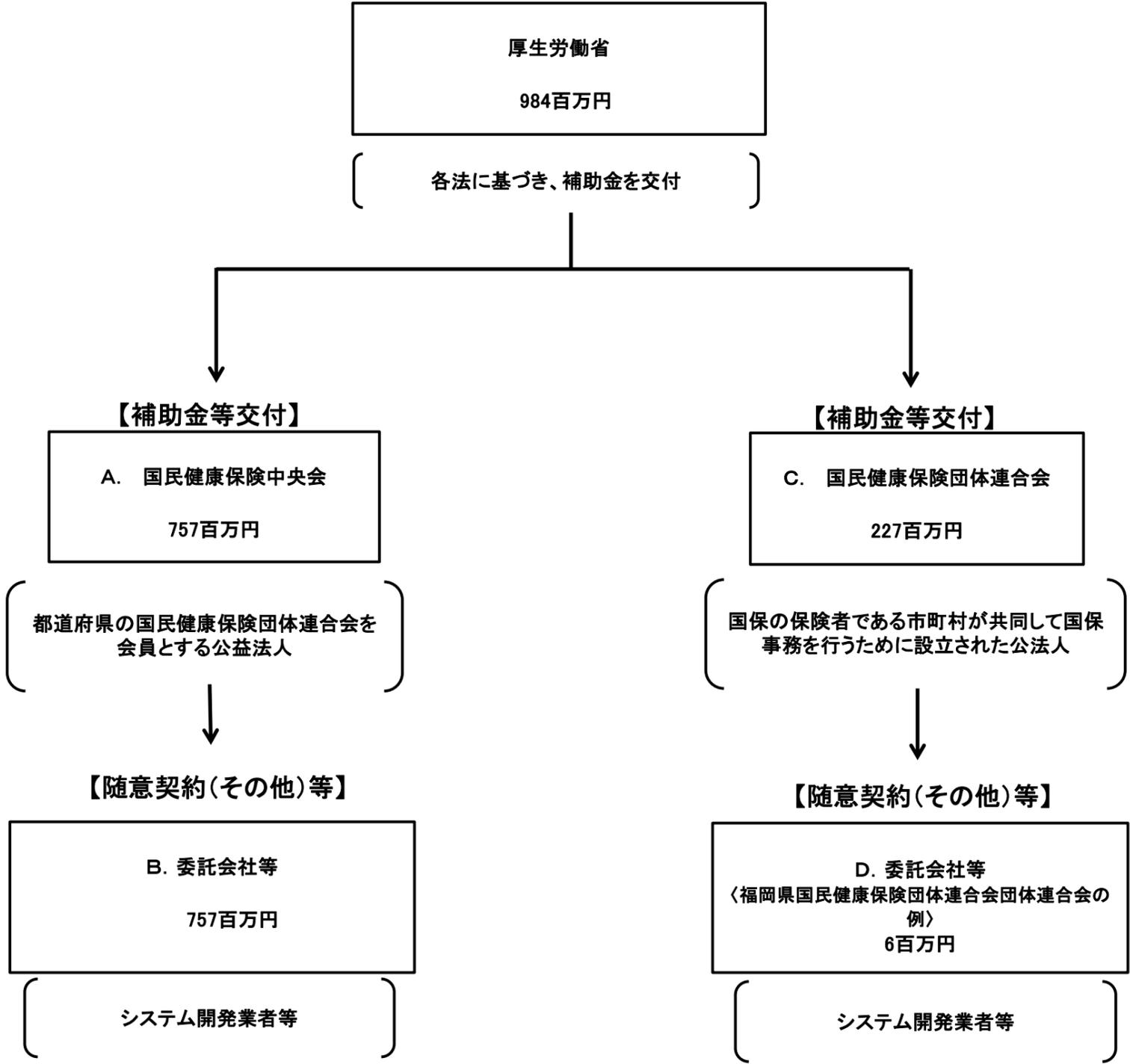
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	後期高齢者医療制度のための関係業務事業に対して国庫補助することで、制度の円滑かつ健全な運営が可能となる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	後期高齢者医療サービスを効率的に実施するため共通事業・共同事業に対して国庫補助している。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	後期高齢者医療の事務を効率的かつ円滑に実施していくために必要な事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	後期高齢者医療制度を効率的かつ円滑に運営していくために、国保業務との関連性・類似性を踏まえつつ、統一的なシステムを構築可能な国保制度に精通している団体を選定している。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	システムのプログラム構成については、できる限り簡便かつ効率的なものになるよう外部のシステムコンサルタントによる検証を実施している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	国保中央会からの支出については、国保中央会の財務規定に基づき、適正かつ合理的に行われている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	システム開発経費については、コスト削減や効率化が図られているか外部のシステムコンサルタントによる検証を実施している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	システムの改修や保守管理を統一的に実施することにより、経費の効率化を図るとともに、制度改正等における迅速な対応を可能としているところである。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	補助金の実績報告書で詳細を把握し、適切に運用されていることを確認している。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	診療報酬の審査支払のための電算処理システムの改修や保守管理に要する補助であり、診療報酬の適切かつ迅速な支払に寄与している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	後期高齢者医療制度関係業務事業費補助金は、国保連合会及び国保中央会が行うレセプト電算処理システム推進事業等に要する経費の一部について、補助するものである。一方、後期高齢者医療制度事業費補助金は、広域連合が実施する、健康診査事業等に要する経費の一部について補助するものである。	
	所管府省名	事業番号		事業名
	厚生労働省	0244		後期高齢者医療制度事業費補助金

点検・改善結果	点検結果	市町村と年金保険者との間で特別徴収に係る情報を国保連合会が一括で仲介することで、二者の情報連携の簡略化を図っており、また国保中央会が統一的なシステム開発等を行うことで、各広域連合の事務の効率化につながっている。制度運営の安定化や事務経費の効率化を図るため、引き続き国による支援は必要である。本システムにより、566,341千件の特別徴収(平成27年度)、45,919万件の審査支払(平成27年度)を実施しており、後期高齢者医療制度に関する事務の効率的運用に不可欠なシステムと評価できる。			
	改善の方向性	限られた予算の中でシステム開発項目の重点化を図り、コスト削減に努めるとともに、後期高齢者医療に関する事務の効率化に努める。			
<b>外部有識者の所見</b>					
点検対象外					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
現状通り	引き続きコスト削減に努めつつ、適切な執行を行うこと。				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
現状通り	—				
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成22年度	249	平成23年度	221	平成24年度	188
平成25年度	221	平成26年度	234	平成27年度	244
平成28年度	240				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【平成28年度執行ベース】

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて  
補足する)  
(単位: 百万円)



費目・用途  
(「資金の流れ」に  
ついてブロック)

A. 国民健康保険中央会			B.(株)日立製作所		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託料	広域連合電算処理システム保守等	689	委託料	広域連合電算処理システム保守等	350
人件費	職員人件費	39			
使用料	広域連合電算処理システムハードリース料等	29			
計		757	計		350



## B.委託会社等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)日立製作所	7010001008844	広域連合電算処理システム保守等	350	随意契約 (その他)	-	-	
2	(株)NTTデータ	9010601021385	国保総合システム保守等	117	随意契約 (その他)	-	-	
3	(株)ウェイライズコーポレーション	2011501012332	システムコンサルティング	75	随意契約 (その他)	-	-	
4	(株)新日本有限責任監査法人	1010005005059	システムコンサルティング	34	随意契約 (その他)	-	-	
5	日本電気(株)	7010401022916	年金特別徴収経路機関システム改修等	25	随意契約 (その他)	-	-	
6	富士通(株)	1020001071491	後期高齢者医療請求支払システム開発・改修等	21	随意契約 (その他)	-	-	
7	全国自治協会	7010005002819	事務所使用料等	15	随意契約 (その他)	-	-	
8	(株)シグマクス	6010401075873	システムコンサルティング	12	随意契約 (その他)	-	-	
9	日立キャピタル(株)	6010401024970	広域連合電算処理システムハードリース料	6	随意契約 (その他)	-	-	
10	みずほ情報総研(株)	9010001027685	国保総合システムマスタ管理業務	2	随意契約 (その他)	-	-	

## C.国民健康保険団体連合会

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福岡県国民健康保険団体連合会	-	第三者求償事務、特別徴収経路事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	13	補助金等交付	-	-	
2	島根県国民健康保険団体連合会	8700150055575	第三者求償事務、特別徴収経路事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	11	補助金等交付	-	-	
3	茨城県国民健康保険団体連合会	5700150018163	第三者求償事務、特別徴収経路事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	10	補助金等交付	-	-	
4	神奈川県国民健康保険団体連合会	4700150011945	第三者求償事務、特別徴収経路事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	10	補助金等交付	-	-	
5	奈良県国民健康保険団体連合会	8700150030256	第三者求償事務、特別徴収経路事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	9	補助金等交付	-	-	
6	鳥取県国民健康保険団体連合会	9700150055070	第三者求償事務、特別徴収経路事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	9	補助金等交付	-	-	

